



子育て日記



子どもの悪いクセ

子どもがだんだん成長してくると、お父さん・お母さんなど周りの大人に対して「ムカつく！」などの暴言を吐き捨てるようになってたりします。これをお読みのお父さん・お母さんの中にも、こういったお子さんの“暴言”、または“悪いクセ”で悩んでいるようなことはありませんか？



暴言を吐く、授業中のおしゃべり、食事のマナー、指しゃぶり、つめを噛むなどの“**子どもの悪いクセ**”は、親としては気になるため叱ることも多いと思いますが、いくら親が叱っても直らないのは多くの場合、本人がみっともないことだと本当に理解していないからでしょう。

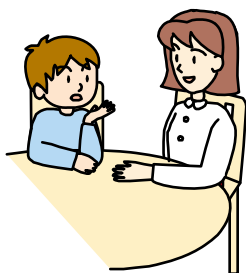
よく大人は、子どものこんな様子を見ると「ストレスのせいでは…？」とネガティブに解釈しがちですが、必ずしもそうとは限りません。つまり、たまたま身についてしまった「良くないクセ」がちよっとしたきっかけで現れることが多いという訳です。

残念なことに、最近若者の多くが「ムカつく」という表現を使っていますから、お子さんもそれが当然の表現のように思ってしまうところもあるでしょう。しかし、やがて成長してくると、本人がそれを「悪いクセだ…」「みっともない行為だ…」ということを理解できるようになってきます。

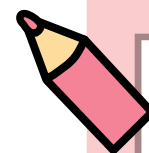
ですから、お父さん・お母さんはお子さんが「ムカつく」と言ったらすぐに叱るのではなく、その時のお子さんの気持ちに理解を示すことが大切ではないでしょうか。例えば、「**今どうして、ムカつくって言ったの？**」と聞いてみてはいかがでしょうか？そして、お子さんの話をしっかり聞き、怒るのは当然だと判断された場合は「そうか、それは頭にくるわね」と相づちを打ってあげましょう。

また、お子さんが「ムカつく」という言葉を発するたび、お父さん・お母さんは「**頭にくるわね**」という表現で相づちを繰り返していけば、大人はこういう表現をするんだと、自然にお子さんも覚えていくはずですよ。もちろん、お子さんの怒りが理不尽なものであれば、親として正しい考え方を示してあげることも大切です。

また、ストレスの多い子は何かにつけ悪いクセが表に出やすい傾向があるのは事実です。しかし、本当に問題になるようなストレスがその子にある場合には、意欲や根気、無気力などの現象も一緒に見られるでしょう。



もし、そういったことが見られず、「ムカつく」という言葉だけが時々飛び出してくるようなら、あまり心配はいらないので温かい目で見守ってあげましょう。



クイズの答え

[Ah] [Er] [Ku]
[mn] [Gt]

「クイズを解く前に
答えを見ちゃだめだよー」